

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	上田市消防委員会
2 日時	平成31年 3月15日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田地域広域連合消防本部庁舎 3階 大会議室
4 出席者	岡田会長、青木副会長、久保田委員、竹内委員、戸兵委員、中原委員、西澤委員、堀内委員、和田委員
5 市側出席者	松井消防部長、久保田消防総務課長、越中央消防課長、堀池消防予防課長、宮原消防警防課長、手塚南部消防課長、宮島東北消防課長、吉池川西消防課長、丸山丸子消防課長、瓶子真田消防課長、長谷川消防団担当政策幹、田中危機管理防災課長、金井武石自治センター地域振興課課長補佐、齋藤消防総務課課長補佐、関消防総務課総務担当係長、福澤消防団副団長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成31年 3月15日

協 議 事 項 等

1 開 会 (関総務担当係長)
2 あいさつ (1) 岡田会長 (2) 松井消防部長
3 議事【協議事項】 (1) 平成30年事業報告と平成31年(2019)事業計画について ア 上田市消防団について (福澤副団長) ・資料に沿い、福澤副団長から上田市消防団について説明 イ 消防団車両等の更新整備について (久保田消防総務課長) ・資料に沿い、久保田消防総務課長から消防団車両等の更新整備について説明 ウ 上田市の消防水利について (宮原消防警防課長) ・資料に沿い、宮原消防警防課長から上田市の消防水利について説明 エ 自主防災組織について (田中危機管理防災課長) ・資料に沿い、田中危機管理防災課長から自主防災組織の状況について説明 (2) 上田市の火災及び救急救助の状況について ア 平成30年上田市の火災概要について (堀池消防予防課長) ・資料に沿い、堀池消防予防課長から平成30年上田市の火災概要について説明 イ 平成30年救急・救助業務の実施状況について (宮原消防警防課長) ・資料に沿い、宮原消防警防課長から平成30年救急・救助業務の実施状況について説明 (3) 上田地域広域連合消防本部の組織体制について ・資料に沿い、久保田消防総務課長から上田地域広域連合消防本部の組織体制について説明 ・以降、協議 (委 員) 平成31年度の消防団員安全装備・資機材等の更新整備事業計画(案)中の「救助用半長靴」と「耐切創性手袋」は災害現場活動に係る安全確保のために、平成27年度からを配備しているとの説明があったが、団員の入れ替え、古くなったものの更新はどうするのか。また、5年計画が終了するが、引き続き安全装備品の配布は行っていくことが大切と考えるがどうか。

(事務局) 救助用半長靴と耐切創性手袋につきましては、必要被服の希望リストに追加し、団員の入れ替え等にも対応していく。また、次年度以降は、引き続き、団員の活動上の安全を確保するため、必要な物品を消防団と協議して、消防団員の装備の充実を図れるよう検討していきたい。

(委員) 県内では、ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を取りやめる動きもあるようだが、上田市はどのような状況にあるのか。

(事務局) ポンプ操法とラッパ吹奏は、消防団員として活動する上で、規律やポンプ操作技術といった、基本的事項を習得するための重要な訓練と考えている。先日開催した上田市消防団最高幹部会において、29個分団全ての分団長も同じ認識であることを確認し、今までと同様に訓練に取り組んでいくことを確認している。

また、大会の開催は、上小消防協会が主催する上小大会の開催も決定されていることから、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展を目的として、上田大会も実施する。

(委員) 次年度11月13日に全国女性消防操法大会に出場するということだが、どのような経過で決定したのか。

(事務局) 全国大会への出場は県内で輪番制となっており、次年度が上小消防協会の順番でした。協会の理事会において協議し、他市町村はチームを編成するのが困難であるという理由から、上田市の出場が決定された。

(委員) 経過は分かりました。他の市町村でチーム編成が困難ということで、上田市が出場を引き受けたという事情も分かりましたが、各市町村の女性消防団員の活性化のためにも、上小消防協会内の消防団をけん引するという立場としての役割を担うことも大切なことだと思うが。

(事務局) 今後は、そのような役割を意識しながらの活動としたい。

(委員) 昨年度、菅平で開催された、市の防災訓練に参加したが、災害時に非常に役立つ体験型の訓練が数多く実施され、参加された皆さんに大変好評でした。今後はどのような形で訓練を実施していくのでしょうか。

(事務局) 3年に一度は実働型の総合防災訓練を実施し、その他の年は「自助・共助」を意識した自主防災を中心とした市民参加型の訓練を、各地域持ち回りで実施しています。菅平での訓練は初の試みでした。今後も各地域万遍なく実施し、皆さんに参加していただけるようにしたい。